

## 2. 課題を克服するために、どのような政策・実施体制の変革が必要か UNDP: マルチの視点から

---

- ◆ 「より平和で繁栄した公正な世界」(ミレニアム宣言のスピリット)という目的に寄与するには？ MDGs達成に寄与するには？ 「地球益」という視点/市民社会による世論醸成・アドボカシーの重要性
- ◆ ODA政策におけるマルチ(多国間)の位置付け  
背景:地球環境、紛争、経済のグローバル化等
  - ・二国間国間援だけで対応するには限界？
  - ・多国間のルールづくり、アジェンダ設定に参画
  - ・多国間の国レベルでの取り組みを支援多国間援助・政策関与に関する明確な戦略が必要

## 2. 課題を克服するために、どのような政策・実施体制の変革が必要か UNDP: マルチの視点から

---

### ◆ 多国間援助(国連・国際機関)への支援の強化

- ・ MDGsが最優先課題(政策/戦略策定支援、プロジェクト実施、モニタリング、アドボカシー等)
- ・ グローバル・ネットワーク (UNDPは世界166カ国)
- ・ 高度な専門性と知見の蓄積
- ・ 政治的中立性

### ◆ マルチ・バイ協力の推進

- ・ 二国間援助と多国間援助の有機的連携
- ・ JICAとUNDP (理事長と総裁がMoUに署名)
- ・ 例: JICA「アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)イニシアティブ」  
X

UNDPの農村電化プログラム

= コメ増産 + 貧困削減、女性のエンパワーメント、初等教育

## 2. 課題を克服するために、どのような政策・実施体制の変革が必要か UNDP: マルチの視点から

- ◆ 多国間政策フォーラムへの参画・リーダーシップ
  - ・ 多国間ルール作り、アジェンダ設定に参画
  - ・ 「公正な世界」 ニューマルチラテラリズム/グローバルガバナンス、市民社会も一緒に議論
  - ・ 「MDGs達成」 二国間援助、多国間援助で培われた知見を政策的議論・提言に昇華し、インプット

### 2010年の主要フォーラム

- ・ TICADプロセス(経済成長の加速化、MDGs)
- ・ 北京 + 15 (UNDP/日本WID基金)
- ・ MDGsハイレベルサミット(TICADからのインプット)